

令和8年度 学校マネジメントシート

学校名(三重県立四日市南高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校の姿		<p>『自ら立ち、創り出し、共に、夢をかなえよう。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高い志と豊かな人間性を磨き、「郷土を慈しみ誇りに思う心」を持ったリーダーが育つ学校 ○ お互いのチャレンジを称え、一步踏み出す勇気を支え合う「心理的安全性」に満ちた学校 ○ バランスの取れた確かな学力をベースに、国公立大学進学を目指し、志望学部・学科への道を切り拓く学校
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら考え、道を拓く力 掲げた夢の実現に向かって、多角的な視点で思考し、進むべき道を自ら切り拓く力 ○ 志高く、信頼で導く力 社会に貢献する高い志を持ち、人々の心に寄り添い、信頼関係の中で発揮するリーダーシップ ○ 共に高め合い、喜ぶ心 お互いの個性を認め、切磋琢磨しながら「共に」成長することに喜びを感じる向上心
	ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 深い愛情と豊かな人間性、高い専門性を備え、南高生一人ひとりが伸び伸びと、自律的に学ぶプロセスを、情熱を持って支える教職員 ○ 対話を大切にし、人々の心に寄り添う教職員 ○ 南高生や同僚と共に、お互いをリスペクトし、学び続ける教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要望・期待	<p><南高生></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学力の向上と進路希望の実現 ○ 「心理的安全性」に満ち、あらゆる活動において、力を発揮することができる環境 <p><保護者等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学力の向上と進路希望の実現、進むべき道を自ら切り拓く力の育成 ○ 一人ひとりが大切にされ、「心理的安全性」に満ちた環境 <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域活動への積極的な参加 ○ 「郷土を慈しみ誇りに思う心」を持ったリーダーの育成 	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><保護者等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南高生の様子や進路情報等の積極的な発信 ○ 「心理的安全性」に満ちた環境 <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動や南高生の様子等の積極的な発信 <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域活動への積極的な参加 ○ 災害時対応を含めた施設の開放と活用 	<p><保護者等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動への理解と協力 ○ 基本的な生活習慣の確立と、家庭での見守り、学習環境サポート <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎学力と基本的な生活習慣の定着 ○ 南高生に関する情報の共有 <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動への理解と協力 ○ 教育リソースの提供 ○ 南高生が活動する場の提供

<p>(3) 前年度の学校関係者評価など</p>	<p>○主体的、対話的な学びや探究の要素を取り入れるとともに、ICT 機器の効果的な活用を推進し、継続した授業改善への取組が重要である。</p> <p>○教えること、育てることを意識し、自己肯定感を高める取組等、自己表現に向けた多様なキャリア教育の取組に期待する。</p> <p>○面談の実施、不登校への対応、いじめ防止の取組等、安心して学校生活を送ることができる環境づくりに今後も継続して取り組む必要がある。</p> <p>○学校の特色化、魅力化を図っていくことが重要である。また、働き方改革を進めていく必要がある。</p>				
<p>(4) 現状と課題</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="284 454 437 763"> <p>教育活動</p> </td> <td data-bbox="437 454 1442 763"> <p>○多くの南高生が学習と部活動を両立できるよう努力している。素直で真面目な生徒が多く、学習にも粘り強く取り組むことで、多くの南高生が希望する国公立大学に進学し、進路希望を実現している。</p> <p>○困難に直面した際、しなやかに立ち直り、次の一步を踏み出す「心の強さ」を育む必要がある。また、学習において、「提示された課題に答える」という受動的な姿勢が中心となっている南高生もいる。今後、自ら問いを立て、内側から湧き出る好奇心に従って「自律した学習者」として歩み出すための支援を工夫する必要がある。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 763 437 1102"> <p>学校運営等</p> </td> <td data-bbox="437 763 1442 1102"> <p>○保健部、教育相談系のリードのもと、学校組織として、不安や心配を抱える南高生を迅速に支援し、心理や特別支援、医療、福祉等専門性の高い方々や機関との連携・協働を引き続き推進していく。</p> <p>○数理科学コースについて、「南高生 Infinity(ワーキング)」を起点に、特色・魅力をさらに研ぎ澄ます必要がある。また、さらなる学校の魅力発信に向け、引き続き「オープン・スクール」を工夫したり、ウェブ・ページの改善を検討したりする必要がある。</p> <p>○時間外労働時間の縮減において、一定の成果は見えつつあるが、依然として課題も多く、引き続き業務改善を進める必要がある。</p> </td> </tr> </table>	<p>教育活動</p>	<p>○多くの南高生が学習と部活動を両立できるよう努力している。素直で真面目な生徒が多く、学習にも粘り強く取り組むことで、多くの南高生が希望する国公立大学に進学し、進路希望を実現している。</p> <p>○困難に直面した際、しなやかに立ち直り、次の一步を踏み出す「心の強さ」を育む必要がある。また、学習において、「提示された課題に答える」という受動的な姿勢が中心となっている南高生もいる。今後、自ら問いを立て、内側から湧き出る好奇心に従って「自律した学習者」として歩み出すための支援を工夫する必要がある。</p>	<p>学校運営等</p>	<p>○保健部、教育相談系のリードのもと、学校組織として、不安や心配を抱える南高生を迅速に支援し、心理や特別支援、医療、福祉等専門性の高い方々や機関との連携・協働を引き続き推進していく。</p> <p>○数理科学コースについて、「南高生 Infinity(ワーキング)」を起点に、特色・魅力をさらに研ぎ澄ます必要がある。また、さらなる学校の魅力発信に向け、引き続き「オープン・スクール」を工夫したり、ウェブ・ページの改善を検討したりする必要がある。</p> <p>○時間外労働時間の縮減において、一定の成果は見えつつあるが、依然として課題も多く、引き続き業務改善を進める必要がある。</p>
<p>教育活動</p>	<p>○多くの南高生が学習と部活動を両立できるよう努力している。素直で真面目な生徒が多く、学習にも粘り強く取り組むことで、多くの南高生が希望する国公立大学に進学し、進路希望を実現している。</p> <p>○困難に直面した際、しなやかに立ち直り、次の一步を踏み出す「心の強さ」を育む必要がある。また、学習において、「提示された課題に答える」という受動的な姿勢が中心となっている南高生もいる。今後、自ら問いを立て、内側から湧き出る好奇心に従って「自律した学習者」として歩み出すための支援を工夫する必要がある。</p>				
<p>学校運営等</p>	<p>○保健部、教育相談系のリードのもと、学校組織として、不安や心配を抱える南高生を迅速に支援し、心理や特別支援、医療、福祉等専門性の高い方々や機関との連携・協働を引き続き推進していく。</p> <p>○数理科学コースについて、「南高生 Infinity(ワーキング)」を起点に、特色・魅力をさらに研ぎ澄ます必要がある。また、さらなる学校の魅力発信に向け、引き続き「オープン・スクール」を工夫したり、ウェブ・ページの改善を検討したりする必要がある。</p> <p>○時間外労働時間の縮減において、一定の成果は見えつつあるが、依然として課題も多く、引き続き業務改善を進める必要がある。</p>				

3 中長期的な重点目標

<p>教育活動 【カリキュラム・ポリシー】</p>	<p>○バランスの取れた確かな学力をベースに、内側から湧き出る「問い」を大切に、多角的な視点で思考を深めることで、志望学部・学科、その先の未来への道を切り拓く教育課程を編成する。</p> <p>○1 学年では、共通の学びを通じて広い視野を養い、2 学年からは個々の志、進路希望、適性に応じた文系・理系に分かれた学びを深め、「自律した学習者」として夢をかなえるプロセスを支援する。</p> <p>○「郷土を慈しみ誇りに思う心」を育むとともに、倫理観と豊かな人間性を備え、人々の心に寄り添いながら信頼関係の中で発揮するリーダーシップを育む。</p> <p>○主体的に考え、創り出す学校行事、生徒会活動、部活動、ホームルーム活動等をお互いのチャレンジを称え、一步踏み出す勇気を支え合う「心理的安全性」に満ちた場とする。</p>
<p>学校運営等</p>	<p>○「自ら考え、道を拓く力」、「志高く、信頼で導く力」、「共に高め合い、喜び心」を育むため、客観的なデータや授業の検証をとおして、南高生が「自ら考え、知を創造する」喜びを感じられる授業への改善を、組織的なカリキュラム・マネジメントにより推進する。</p> <p>○教職員一人ひとりが、高い志を持つリーダーのロールモデルであることを自覚し、職責を果たす。県民・地域社会からの信頼を礎とし、誠実な対話と高いコンプライアンス意識を持って、学校づくりを推進する。</p> <p>○前例にとらわれず、南高生と教職員の成長に資する業務の精選と、ICT 活用による業務の効率化を進める。</p> <p>○教職員同士が互いを支え合う「心理的安全性」を確保するとともに、総勤務時間の縮減を図ることで、心身ともに健康で、情熱とやりがいを持って南高生に伴走できる、活力ある職場環境を共創する。</p>

4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿</p> <p>【アドミッション・ポリシー】</p>	<p>○知的好奇心に富み、自らの「好き」や「なぜ？」を羅針盤にして、主体的に学びに取り組む姿</p> <p>○社会への関心が高く、失敗を恐れず、自らの可能性を信じて「高い志」を掲げる姿</p> <p>○他者を尊重し、お互いのチャレンジを称え合える「心理的安全性」を大切にする姿</p>
--	--

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導	<p>○「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</p> <p>○探究的な学びの推進</p> <p>○「数理科学コース」での学びの特色化・魅力化</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開授業および研究協議を年5回以上実施 ・「授業参観月間」を年2回以上設定 ・地域で、校種を越えた科学の取組を年3回以上実施 ・学校全体で、探究的な学びの発表会を年1回実施 ・「数理科学コース」で特色ある取組を年5回以上開始 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート「授業内容はよくわかりますか」への肯定的回答の割合 90%以上 ・生徒アンケート「授業では自分で考え、自分から取り組んでいますか」への肯定的回答の割合 90%以上 		◎ ※ ※
進路指導・キャリア教育	<p>○掲げた夢の実現に向かって、多角的な視点で思考し、進むべき道を自ら切り拓くキャリア学習</p> <p>○早期からの、第一志望学部・学科、大学への進学サポート</p> <p>○地域と連携したキャリア学習機会の創出</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年で、企業・職場訪問を年1回以上実施 ・本校独自の「キャンパス・ツアー」を年2回以上実施 ・医学系や教育系大学等への進学を目指す南高生がグループピングをとおして校内外で学ぶ機会を年3回以上設定 ・外部人材との触れ合いをとおして、多角的な視点で進路について自ら考える機会を年10回以上設定 ・各学年、年6回以上の個人面談を実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート「目標の達成をめざして、学習等ができていますか」の肯定的回答の割合 85%以上 		

	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート「知識」や「技能」が向上した」の肯定的回答の割合 90%以上 ・生徒アンケート「考える力」や「表現する力」が向上した」の肯定的回答の割合 90%以上 ・生徒アンケート「授業内容についてより深く学びたいと思うようになった」の肯定的回答の割合 85%以上 		
組織力向上	<p>○お互い気軽に声をかけあうことができ、コンプライアンス遵守の雰囲気醸成されている職場づくり</p> <p>○企画運営委員会・学校信頼向上委員会を活用した、迅速かつ効果的な改善</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス・ミーティングを年3回以上実施 ・企画運営委員会・学校信頼向上委員会を月1回以上実施し、組織として改善が必要な内容へ迅速に対応 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画運営委員会で改善した具体的事案3件以上 		◎
働きやすい職場づくり	<p>○風通しが良く、やりがいを感じられる職場づくり</p> <p>○時間外勤務時間の縮減</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日(月に1度)に定時退校できた教職員の割合 100% ・予定通り(週に1度)休養日を実施できた部活動の割合 100% ・放課後に開催され 60 分以内に終了する会議の割合 70%以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務時間が年360時間を超える教職員数 0人 ・時間外勤務時間が月45時間を超える教職員数の延べ人数 0人 ・1人当たりの月平均時間外勤務時間 30時間以下 ・1人当たりの年間休暇取得日数 10日以上 		◎ ※ ※
その他	<p>○南高生が主体となる、本校の魅力発信・広報充実</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南高生が主体となるオープン・スクールを年1回実施 ・学年、分掌のすべてが、ウェブページ上で年1回以上の情報発信 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスコミでの南高生取組報道 年7回以上 		
改善課題			

6 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<p>(年度末に記載)</p>
----------------------------	-----------------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)